Rotary
世界に希望を生み出そう
2023-24 年度 RI テーマ
CREATE HOPE in the WORLD
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Bulletin
藤枝南ロータリークラブ　会報

例　会：毎週金曜日
会　場：小杉苑　藤枝市青木 2-35-30
ＴＥＬ：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
ＴＥＬ：054-646-3919　ＦＡＸ：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2023-24 年度
会長：渡邊博文　副会長：漆畑雄一郎　幹事：富澤賢一　副幹事：中山恵喜

例　会　第１５４５回　米山記念奨学委員会/小杉苑　　第１５４６回　早朝例会
ソング：君が代、奉仕の理想　　ソングリーダー：杉浦聡君

会 長 挨 拶　　渡邊博文君

桜の花が咲く、春爛漫の 4 月となりました。3 月 30 日から藤枝では､桜祭りが始まりましたが、残念ながら、枝には花一輪、二輪とさびしい感じでした。寒暖差の激しかった 3 月を象徴するが如くでした。

３月２３日に袋井ロータリークラブ主催の「桜を観る会」に杉山さんと一緒に行ってまいりました。今のグループ編成の前の静岡第 6 分区の IM 記念合同事業で 2000 年―2001 年にエコパの公園に桜を２０１本植えたそうです。６０種類の桜が見事に咲き誇っていましたと言いたいとこですが、ご多分に漏れず、雨も降り、寒い花見となりました。当時のガバナー補佐からこの事業の話をお聞きしました。クラブ内だけではなく、他クラブとの IM 合同事業の大きな成果を実感できました。懇親会も開かれ、我々、第４グループの会長をはじめメンバーと楽しく親睦を深めることができました。

本日は、米山記念奨学委員長の渡辺様をお迎えしての例会となります。来年度は、地区の米山記念奨学副委員長に内山さんを輩出します。内山さんには、副委員長２年、委員長、直前委員長と４年間出向となります。また、４月から樽井さんが、米山奨学生のカウンセラー、当クラブが世話クラブとなります。本日の、講演をお聞きして理解を深めて参りたいと考えます。私なりの米山記念奨学事業の理解は、戦後、日本独特のロータリーの事業と認識しています。アジアを中心とする多くの若者を受け入れ、日本そのものを理解していただき、日本、世界の平和と安定に貢献できる人物を、このような崇高な理念のもとに、輩出してきた実績があります。本日は、ご講演よろしくお願いいたします。

ビ ジ タ ー

米山記念奨学会委員長　渡辺郁様

出 席 報 告　　笠原大輔君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
40／51　78.43%	44／51　86.27%

（1）欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）

○阿井君○川口君○桑原君○小嶋君○竹田君
○内藤君○中村君○中山君○早川君○村松君
○森下君

（1）メークアップ者

漆畑雄一郎君（藤枝）　鈴木寿幸君（地区）
平原望雲（奉仕）

食事準備数	食事提供数	残	累計残
43	43	0	9

パーフェクト例会数：😊😊😊😊😊😊😊😊😊
😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊
欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルＢＯＸ　　笠原大輔君

・本日、米山卓話でお邪魔しました。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。
米山記念奨学委員長　渡辺郁様
・誕生日プレゼントありがとうございます。
還暦となります。健康第一でいきます。
今後も宜しくお願いします。
米山記念奨学委員長　渡辺郁様　遠路お越しいただきありがとうございました。本日は宜しくお願い致します。　渡邊博文君
・誕生日プレゼントありがとうございました。
時々自分が何才かわからなくなることがあります。　江﨑直利君
・妻の誕生日プレゼント有難う。　朝比奈絜君
・誕生日プレゼントありがとうございます。
今年は４回目の年男になります。笠原大輔君
・誕生日プレゼントありがとうございました
68 才になりました。　若林秀典君
・誕生日プレゼントありがとうございました。
漆畑雄一郎君
・結婚記念日のお祝いありがとうございます
最近めっきり、お祝いしていないので今年は盛大に祝いたいと思います。　数野晴紀君
・結婚記念日のお祝い有難うございます。
山田幸保君
・結婚記念日のプレゼントありがとうございました。　小池吉徳君
・結婚記念のお祝いありがとうございます。
鈴木照竟君

スマイル累計額　　６５１，０００円

■ 外 部 卓 話

米山記念奨学委員会　委員長　渡辺郁様

「ロータリー米山記念奨学事業」は、ロータリーが目指す国際理解と親善、世界平和に寄与することを 目的としている。本事業は 1952 年東京 RC の奨学事業（米山基金）構想を踏まえ、わずか 5 年で 日本全国の共同事業へと発展、1967 年に文部省（当時）を主務官庁とする財団法人ロータリー米山記念奨 学会が設立（2012 年公益財団法人へ移行）され、歴史的にも世界に類を見ない日本のロータリー独自の 全 34 地区合同プロジェクトとして現在に至っており、設立から一貫して国を問わず外国人留学生を支援 している。米山記念という冠は、日本のロータリークラブ創始者のひとり、米山梅吉翁の名前に由来して いるが米山梅吉翁が始めた事業ではなく、1946 年に米山梅吉翁が亡くなられた以降にその偉業を讃え、 その奉仕の精神を受け継ぐべく名付けられている。そこには二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、 国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンたちの強い願いがあった。ロータリー米山 記念奨学会史にはこう書かれている。「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解 させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じても らうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」構想から 本年で 70 年になるが当時の想いは今も脈々と受け継がれている。

ロータリー米山記念奨学会と他の奨学金との違いとして、①日本全国のロータリークラブ会員の寄付が 財源②事業規模は国内民間の外国人留学生奨学団体で最大 ③ 創立から一貫して外国人留学生を支援 ④世話クラブ・カウンセラー制度によるサポート体制の充実。以上 4 点を挙げる

ことができる。また、 最大の特徴である世話クラブ・カウンセラー制度は、奨学生一人に対し、ひとつのロータリークラブが 【世話クラブ】となる。またそのクラブのロータリアンから一名の 【カウンセラー】が専任され、留学生 の相談役を務める。奨学生はクラブの例会や奉仕活動に参加が義務付けられ、ロータリアンとの交流を 深める中で、国際平和や奉仕の理念を学ぶ。したがって、米山奨学生は奨学金を受け取るだけでなく、 顔の見える交流を一番大切にし、積極的にロータリーに参加する姿勢が求められる。

米山記念奨学生の選考と奨学金として、米山記念奨学生になるにはルールがある。まず地区内にある 指定校からの推薦が必要になる。奨学会で許可された指定校が、学内から米山記念奨学生として相応しい 学力とコミュニケーション能力を持つ学生を選定し応募する(担当教官の推薦状も必要) その後、 共通の指定校推薦制度にて応募があった学生を全国統一の書類選考、面接選考を経て、最終的に毎年全国 で約 900 名程度を採用している(2023 学年度は全国で 880 名、うち新規採用は 623 名、当 2620 地区割 当は 27 名、うち新規採用は 18 名) 全国統一の基準としては、【将来の目標・留学の目的がきちんとして いるかどうか】 【交流への熱意があるかどうか】 【人柄の良さ】【コミュニケーション能力の高さ】+【地区 裁量】として、日本語で意思疎通できる。もしくは日本語での会話に意欲ある学生が有利とする。学問、 研究に今後も積極的に取り組む姿勢がある学生を優先。ロータリー活動に関心を示しかつ積極的に協力し、 将来日本と母国との親善を深めようとする学生を優先などが挙げられる。

普通寄付金と特別寄付金について、米山記念奨学事業への寄付は二通りある。①普通寄付金: 日本の全 ロータリアンからの定期寄付でクラブが金額を決められる。半期に一度、会員数分を送金する。当地区は 4,000 円以上。②特別寄付金:個人、法人、クラブから普通寄付金以外の任意寄付。金額の決まりはなく、 ロータリアン以外からも受付けている。当地区は 12,000 円以上。地区の目標寄付額は、普通寄付と特別 寄付を合わせて、一人が年間 16,000 円以上としている。

結びとしまして、ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリアンの善意で成り立っておりま
す。皆様からいただいた寄付金はクラブでの奨学生の受け入れに関わらず、全国の奨学生を支援する為 に使用させていただいております。コロナ、円安、資材高、人材不足等の影響で経済が圧迫され皆様方 の企業も大変な環境下におかれていると思います。こんな時代に外国人学生を面倒見るのは“どうか” とか、寄付は“ちょっと”と思われるのも当然あると思います。しかしながら戦後の 1952 年、国際平和 を願った当時の日本のロータリアンは「こんな時だからこそ何かできることはないだろうか」と模索 し、心を合わせてこの事業を始められました。そんな時代の節目である今だからこそ、これまで日本の ロータリアンが少しずつ築き上げてきた平和への願いである本事業を支え、次の時代につなげていかな ければならないと強く思うと同時に、民間外交としてこれからも世界に平和の架け橋を数多く架け、 平和を求める日本のロータリアンの意思と絆を世界に伝えていけたらと思います。

藤枝南ロータリークラブの皆様におかれましても、今後ともお力添えをお願いいたします。 本日は卓話にお招きいただき、誠にありがとうございました。

【参考】 ■2023 年 7 月までの各データ
・世界 131 カ国から、延べ 23,509 名の奨学生実績(2022 学年度まで)
(2620 地区では 2022 学年度まで 543 名)
・出身国割合(中国 35%・韓国 20.3%・台湾 15.3%・ベトナム 6.1%・マレーシア 4.6%・他 18.7%)

・最長で 2 年間の奨学金給付 【2023 学年度 採用枠 880 名】

奨学金一覧	月額	期間	募集システム	人数
学部課程	10 万円	最長 2 年	指定校推薦	878 人
修士課程	14 万円			
博士課程	14 万円			
地区奨励	7 万円	1 年		
クラブ支援	14 万円	6 ヶ月/1 年	世話クラブ推薦	
海外応募者対象	10~14 万円	2 年	公募	18 人
海外学友会推薦	14 万円	1 年	海外学友会推薦	4 人

※世話クラブが奨学金を負担することはない。

寄付実績(個人平均)

	全国平均 (2022-23年度)	2620地区 (2022-23年度)	藤枝南RC (2022-23年度)
個人平均寄付額	16,960 円	15,485円	16,041円
普通寄付金	4,884 円	3,857円	4,041円
特別寄付金	12,076 円	11,628円	12,000円

藤枝南ロータリークラブ様 受け入れ、寄付状況

① 受け入れ状況

グループ	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	総計
静岡第4Gr																									
焼津		1						1								1					1				5
島田																									1
磐田				1					1						1						1				5
藤枝	1										1						1		1	1		1	1	1	7
掛川					1					1				1											3
焼津南					1																				2
榛南																									0
袋井		1			1									1							1	1	1	1	6
藤枝南		1													1					1					5
10クラブ計	1	3	0	1	3	0	0	1	1	1	0	1	0	2	2	1	1	0	1	2	3	2	2	2	34

② 寄付状況

クラブ名	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
焼津	2,000	111,000	770,000	881,000	55	16,018	10,035,500	28,672,000	38,707,500
島田	4,000	218,000	648,000	866,000	54	16,037	16,710,450	14,057,000	30,767,450
磐田	2,000	58,000	310,000	368,000	30	12,266	5,272,050	21,192,890	26,464,940
藤枝	4,000	168,000	504,000	672,000	44	15,272	5,594,250	20,007,000	25,601,250
掛川	4,000	148,000	384,000	532,000	34	15,647	5,072,500	15,508,785	20,581,285
焼津南	2,000	65,000	320,000	385,000	32	12,031	6,984,000	17,272,063	24,256,063
榛南	2,000	58,000	406,000	464,000	35	13,257	7,910,000	9,558,000	17,468,000
袋井	4,000	186,000	676,000	862,000	48	17,958	4,232,000	15,704,130	19,936,130
藤枝南	4,000	194,000	576,000	770,000	48	16,041	3,678,000	17,300,000	20,978,000

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
4/19(金) 第 1547 回	地区協議会報告	小杉苑
4/26(金) 第 1548 回	地区協議会報告	小杉苑
5/10(金) 第 1549 回	会員卓話	理事会
5/17(金) 第 1550 回	外部卓話	小杉苑

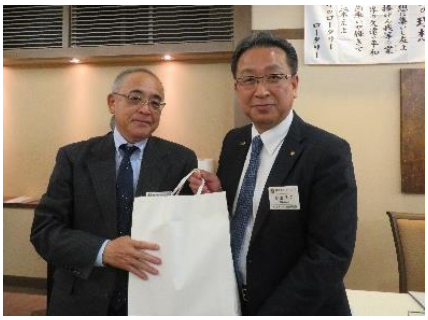
■ 今週の一言　小林正敏君

今年９月の誕生日で満８０歳となります。人生１００年時代と言われています。９０歳までは人様に迷惑をかけることなく生きながらえたいと思っています。

そのために頑張らなければならないと思って努力しようといることは先ずは今現在の体力を維持しなければと考えます。周囲の仲間に迷惑をお掛けしているのですが下手なゴルフをあと 4,5 年は頑張るつもりです。そのためにも一日当たりの平均歩数も５０００歩を目指して頑張っています。

精神面では家の中に籠ることなくなるべく外部の人との接点を如何に多く持つことも大切なことと思います。日々明るく前向きに、取分け心ときめく時間がたくさんあればと願う今日この頃です。

おめでとうございます！



4/7 米山記念奨学生オリエンテーション・対面式

（担当/森竹君）